



人々の生活感あふれるホーチミンの路地裏の旅

写真：路地裏で出会った人々

● ベトナム南部のホーチミン市といえば、整然と並ぶ街路樹やコロニアル様式の建築、経済発展にもなつて雨後のたけのこのように生まれた高層ビル、しゃれたレストランやカフェ、そしてその間を無数のバイクが走る、そんなイメージが強いのではないのでしょうか。

ですが、大通りから一本入った路地、それどこからその路地に入ったのかわからなくなってしまうような、くねくねした路地裏に入ると、ホーチミンのもうひとつの顔と出会えます。それは、力強く生きるベトナム人の暮らしぶりです。そんな路地へ足を踏み入れてみました。

プラスチックの背の低い椅子に腰掛けて大人が新聞を読み、時間をかけてベトナム・コーヒーを片手におしゃべりを楽しむ傍らで、子どもたちが元気いっぱい追いかけっこをして遊んでいます。

ホーチミンにはなぜか、よちよち歩きの子どもに外でご飯を食べさせる習慣があり、子どもの後を、ご飯を入れたお椀とスプーンを持ってお母さんやおばあさんが追いかける姿も路地裏ならではの光景です。

「あら、あんたどこ行くの？」

路地裏には、名前のわからない子どもなんていません。みんなお母さんのおなかにいる時からのおなじみさんです。子どもが何か悪さをすれば、自分の子ども、他人の子ども関係なく大人が叱りつけます。そうした光景を、昭和30、40年代の日本の風景と重ねる方も多いようです。

路地に入っただけだとすると、少しずつ露天や店が増え、そこには路上で朝食を食べたり、昼食や夕食の食材探しにやったり来た人々の姿がありました。朝食は、通勤途中に買って会社で食べるか、通勤途中に路上の屋



地図



いろいろな種類のお米



「ベトナムではね、パイナップルの皮はこうやってむくのよ」



奥へと進んでいくと地元の人達の台所



横道にそれると雑誌をたくさん連ねたお店が...

台で食べるのがホーチミンのやり方。とうもろこしのおこわや、バインクーンとよばれる蒸し春巻きは、朝の屋台で見かけることが多いですし、ビニール袋にいれた豆乳（写真）をバイクのハンドルに引つ掛けて、時々飲んでいる姿もよく見かけます。

路地の突き当たりには、小さいけれど、にぎやかな市場がありました。露天や市場では値段は交渉なので、丁々発止のやりとりがあちこちで行われています。そうそう、市場に行く時は、ドーバーと呼ばれる上下揃いの派手な柄の普段着にサンダル履きが定番です。売り子さんもちろんだーべー。おしゃれなドレスなんか着ていたら最後、値段交渉に負けちゃうかも！？

●邪魔だよ、邪魔バイクのクラクションです。すり抜けられれば、どんな狭い路地裏にも入ってくるベトナム名物のバイクですから、値段交渉ばかりに気をとられてはいられません。

クラクションくらいじゃひるまないベトナム人のたくましさは、市場に來ると培われるのかもしれないね。

最近、物価が上がって大変だとは聞きました。最近、路地も突き当たりにある市場も変わらずにぎやかで、強烈なエネルギーを発しているように感じました。ホーチミンの路地に入ると、小さな一つひとつの日常が見え、それらが町を活気づけて元気な国を形作っているのだなということが実感できます。活力あふれるホーチミンの路地裏に、元気をもらいに行ってみませんか。

ベトナムの

食と暮らし探訪3泊5日

☆ローカル体験が楽しめます☆

- ・地元っ子に人気のレストランや食堂で食事
- ・焼きライスペーパーづくり
- ・路線バスに乗って市内を散策
- ・ホーチミンの路地裏探検

●旅行企画・実施：

株式会社 ピース・イン・ツアー

問い合わせ先：03-3207-3690

食べて、見て、感じて、知るベトナムの食文化

モニター募集中!

ベトナム料理研究家
伊藤忍さん監修

[ホーチミン編]
ベトナムの食と暮らし探訪 3泊5日